

日语 有声读物



深入故事情境
同时训练听力与阅读



1 MP3

日文学习者的阅读好品

上泽社日文编辑小组 编选

1

新美南吉

- ・ 去年の木
- ・ 蟹のしょうばい

楠山正雄

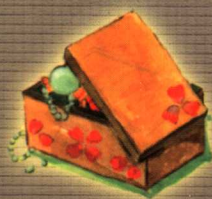
- ・ 浦島太郎
- ・ 猿かに合戦
- ・ わずみの嫁入り
- ・ 白い鳥

梦野久作

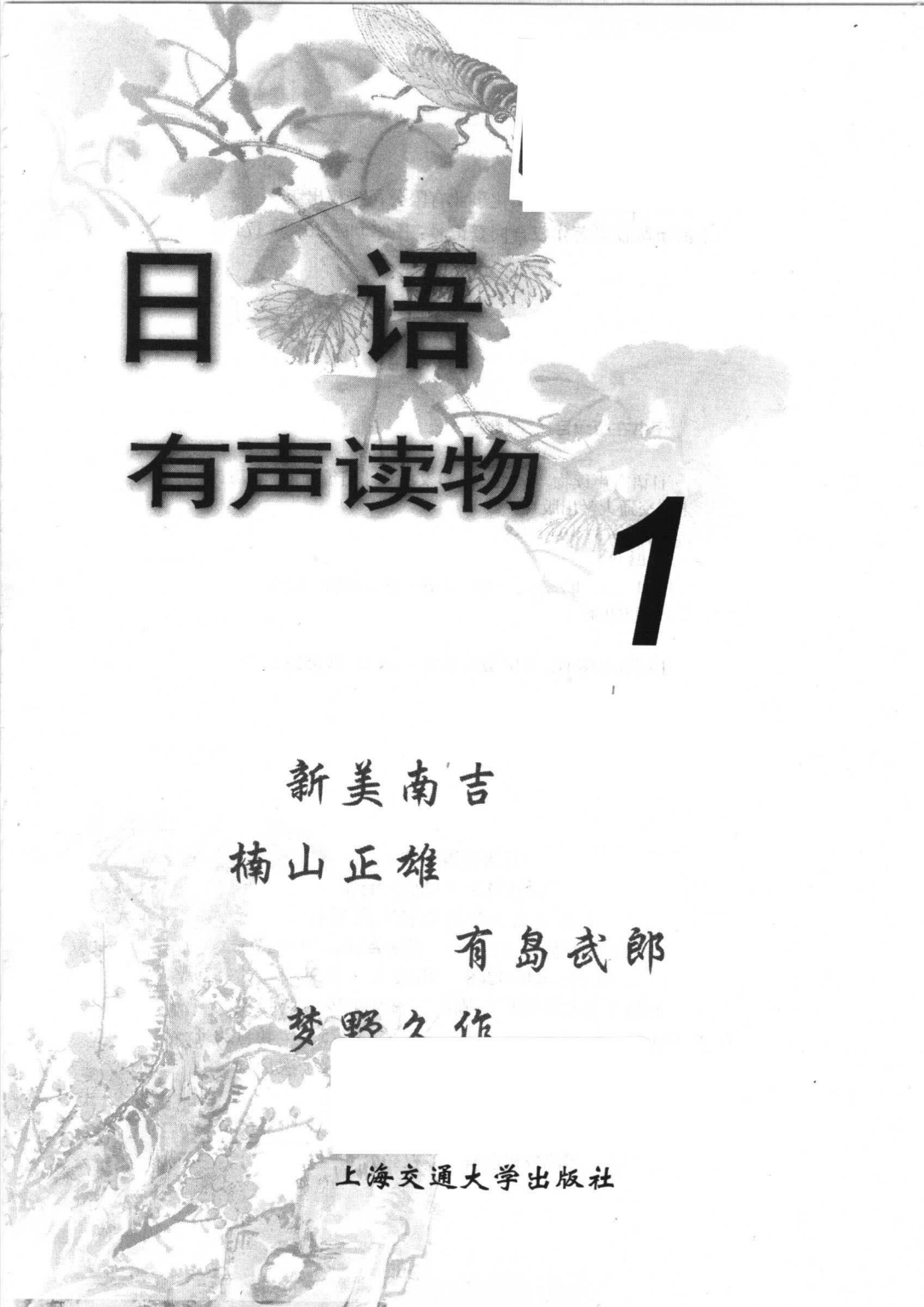
- ・ 雨ふり坊主
- ・ 白椿

有岛武郎

- ・ 一房の葡萄



上海交通大学出版社



日语 有声读物 1

新美南吉

楠山正雄

有島武郎

梦野久作

上海交通大学出版社

本书由(台湾)上泽社文化事业有限公司授权出版
上海市版权局著作权合同登记号: 图字 09-2005-174 号

图书在版编目(CIP)数据

日语有声读物. 1/ 上泽社日文编辑小组编选. - 上海:
上海交通大学出版社, 2005
ISBN 7-313-04031-8

I. 日 ... II. 上... III. 日语-语言读物, 故事
IV. H369.4; I

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 052332 号

日语有声读物 1

上泽社日文编辑小组编选

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 877 号 邮政编码: 200030)

电话: 64071208 出版人: 张天蔚

上海市美术印刷厂印刷 全国新华书店经销

开本: 880mm × 1230mm 1/32 印张: 4.375 字数: 120 千字

2005 年 6 月第 1 版 2005 年 6 月第 1 次印刷

印数: 1 - 5050

ISBN 7-313-04031-8/H · 813 定价(含 MP3): 25.00 元

版权所有 侵权必究

【推荐序】

成人的想像世界：有声胜无声

赖振南

“很久很久以前，有个地方住着一位……”这样的声音在每个人的脑海深处都印刻着，这或许是婴幼儿时候、或许是孩提时代，母亲在耳边所讲述的童谣或儿童故事的深层余韵吧。日本的传说故事、童话甚至儿童文学大都以此作为故事的开端来吸引读者或听者，开启孩童想像、幻想的空间，甚至激发成年人纯真童心的复苏。

上泽社精选了日本儿童文学数位代表性作家的经典作品，推出两本有声故事集，内容除了能满足喜好儿童文学的读者无声的梦幻享受外，也能提供给日语学习者有声的语言感受，自然而然融会贯通日语，并毫无负担地吸收日本深层文化。相信学习效果会有声胜无声。

本故事集中有芥川龙之介、有岛武郎、宫泽贤治等著名日本小说家的儿童文学作品；也有儿童文学作家新美南吉、梦野久作、楠山正雄及小熊秀雄的著名童话。那么“童话”和“儿童文学”有何差异呢？

“童话”大致可区分为：（一）指江户时代（1603年）以来所沿用的“古传说故事”，如《桃太郎》、《浦岛太郎》、《猴蟹大战》；（二）指近代儿童文学中的空想创作故事，如《蜘蛛丝》、《一串葡萄》、宫泽贤治和新美南吉的作品；但“童话”和“儿童文学”在定义上没有很清楚的区别，所以两者经常被误用，都被视为同义语。

其实在日本，“儿童文学”这一名称要到昭和初期（约1925年以后）才被使用，这之前有所谓“少年文学”、“古传说故事”、“童话”、“童话文学”等不同名称。不过，不论“童话”或“儿童文学”，其基本的定义应该是，以幼儿至中学生为阅读对象、由成年人所创作的文学作品，不包含

1



推
荐
序

儿童所写的东西在内。可是,对于“儿童文学”的认知却有两种不同的意见,其一认为儿童文学既然是文学就不能与一般的文学有丝毫不同,另一认为对象既然是儿童,就该有别于成年人的文学。这两大立场的争议在于儿童文学该不该导入教育的观点,换句话说,问题症结就在于成年人如何看待儿童。

那么您的儿童文学观点呢?请听过《经典日本文学有声故事集》*之后再发表意见吧。

本文作者为辅仁大学日文系系主任



* 现书名《日语有声读物》,译文做了适度加工。

听日本文学作品学日文

文学也是可以用来听的。

优美的文学作品除了通过阅读来领略文字之美外,更适合用耳朵来感受字里行间蕴藏的真挚情感、发人深省的故事寓意。我们推出这套《经典日本文学有声故事集》*正是希望通过有声读物的出版方式,让读者更容易了解日本文学。

上泽社日文编辑小组从青空文库中选编了日本名家芥川龙之介、有岛武郎、小熊秀雄、宫泽贤治、楠山正雄、新南美吉、梦野久作等人的知名作品,搭配精美的插画,并录制成日语原声 MP3,借由 MP3 的故事情境,带领读者快速掌握学习日文的新方法——听日本文学作品学日文!

《经典日本文学有声故事集 1·2》*共选编了《蜘蛛丝》《猫咪事务所》《浦岛太郎》《烤熟的秋刀鱼》等 14 个故事,这些遴选的作品,多半为各大专院校日文系所指定阅读,我们期待读者经过反复聆听 MP3 及阅读,能够具备赏析的能力,提升日文程度。这是台湾第一套日本文学有声读物,我们将邀请知名教授、学者举办一系列的座谈会,让有兴趣的读者,通过这些方式进一步认识日本文学,更加了解各个大师的作品风格。

《经典日本文学有声故事集》*将继续挑选日本优秀文学作品,介绍给读者,上泽社日文编辑小组也会将选材触角延伸至日本奇幻文学、远古神话、现代文学……通过不同的作品风貌,了解日本当时当地的风土民情,相信这样的日文学习方式必定是最实用且最有效率的。

上泽社出版总监 郑素雯



听日本文学作品学日文

* 现书名《日语有声读物》,译文做了适度加工。

目 录

新美南吉

去年の木 2 MP3—1

いづぽんの木^きと、いちわの小鳥^{ことり}とはたいへんなかよしでした。

蟹のしょうばい 8 MP3—2

かに^{かに}蟹がいろいろかんが^{かんが}えたあげく、とこやをはじめました。

楠山正雄

浦島太郎 16 MP3—3

むかし、むかし、丹後^{たんご}の国水^{くにみず}の江^えの浦^{うら}に、浦島^{うらしま}太郎^{たろう}というりょうしがありました。

猿かに合戦 40 MP3—4

むかし、むかし、あるところに、猿^{さる}とかにががありました。

ねずみの嫁入り 56 MP3—5

むかし、むかし、ある家^{いえ}のお倉^{くら}の中^{なか}に、お米^{こめ}を持^もつて、
て、麦^{むぎ}を持^もって、粟^{あわ}を持^もって、豆^{まめ}を持^もって、たいそうゆ
たかに暮^くらしているお金持^{かねも}ちのねずみ^すが住^すんでおりま
した。



白い鳥 64 MP3—6

むかし^{おうみのくに}近江国の^{よこのうみ}余呉湖という^{こすい}湖水に近い^{ちか}寂しい^{さび}村^{むら}
に、伊香刀美^{いかとみ}という^すりょうしが住んでおりました。

夢野久作

雨ふり坊主 82 MP3—7

お天気^{てんき}が続^{つづ}いて、どこの^{たんぼ}田圃も^{みず}水が^ひ乾^あ上がりま
した。

白椿 92 MP3—8

ちえ子^こさんは可愛^{かわい}らしい奇麗^{きれい}な児^こでしたが、勉強^{べんきょう}が
きらいで^{あそ}遊^{あそ}んでばかりいるので、^{がっこう}学校を^{なん}何べんも^{らくだい}落第
しました。

有島武郎

一房の葡萄 106 MP3—9

僕は^{ぼく}小さい^{ちい}時に^{とき}絵を^え描^かくことが^す好きでした。僕の
通^{かよ}っていた^{がっこう}学校は^{よこはま}横浜の^{やま}山の^て手という^{ところ}所^{ところ}にありまし
たが、そこいらは^{せいようじん}西洋人ばかり^す住^すんでいる^{まち}町で、僕の
学校も^{がっこう}教師^{きょうし}は^{せいようじん}西洋人ばかりでした。



新美

南吉

1
9
1
3
(大正2年) — 1
9
4
3
(昭和18年)

にいみ なんきち

本名渡边正八，爱知县半田市出生的儿童文学作家，中学时即开始童谣、童话的创作，其童话创作才能曾被期许能成为宫泽贤治的竞争对手，却于29岁那年因肺结核去世。4岁时母亲去世由后母抚养，8岁时又过继回生母老家从母姓“新美”，因生活孤寂，5个月后重新回到父亲家，童年时的孤寂感常流露于作品中。

一生皆于学校从事教职兼创作，18岁时（昭和6年）创作了《ごん狐》，隔年登载于由儿童文学家铃木三重吉所创办的儿童文学杂志《赤い鳥》，昭和55年更入选日本全国小学4年级教科书。新美作品常以良心、善意、信赖等温馨诉求为主题，从庶民生活、周遭的小动物、乡土风俗取材，故事性丰富、巧妙的心理描写再加上一点幽默色彩，让他即使在去世半个多世纪的今天仍受到广大读者的喜爱。



きよ ねん き 去 年 の 木

いづぽんの木と、いちわの小鳥とはたいへんなかよしでした。小
鳥はいちにちその木の枝で歌をうたい、木はいちにちじゅう小鳥の
歌をきいていました。

けれど寒い冬がちかついてきたので、小鳥は木からわかれてゆか
ねばなりませんでした。

「さよなら。また来年きて、歌をきかせてください。」

と木はいいました。

「え。それまで待ってね。」

と、小鳥はいつ、南の方へとんでゆきました。

春がめぐってきました。野や森から、雪がきえていきました。

小鳥は、なかよしの去年の木のところへまたかえっていきま
した。

ところが、これはどうしたことでしょう。木はそこにありません
でした。根っこだけがのこっていました。

「ここに立ってた木は、どこへいったの。」

と小鳥は根っこにききました。

根っこは、



去年的树

有一棵树和一只小鸟曾经非常要好。小鸟一整天在树枝上唱歌，树也一整天听着小鸟的歌。

但是寒冷的冬天近了，所以小鸟不得不离开树而去。

“再见。明年请再来唱歌给我听。”树说。

“嗯，一定等着我啊。”

小鸟说完，就飞向南方去了。

春天来临了，原野和森林的雪都融化不见了。

小鸟又回到去年的好朋友的树这里。

但是，这是怎么一回事呢？树不在了，只剩下了树根。

“这里的树到哪里去了呢？”

小鸟问树根。

树根说：



「きこりが斧^{おの}でうちたおして、谷^{たに}のほうへもっていったよ。」
といました。

小鳥^{ことり}は谷^{たに}のほうへとんでいきました。

谷^{たに}の底^{そこ}には大きな工^{おお}場^{こうじょう}があつて、木^きをきる音^{おと}が、ビーンビーン、
としていました。

小鳥^{ことり}は工^{こうじょう}場^{もん}の門^{うえ}の上にとまって、

「門^{もん}さん、わたしのなかよしの木^きは、どうなったか知^しりませんか。」
とききました。

門^{もん}は、

「木^きなら、工^{こうじょう}場^{なか}の中でこまかくきりきざまれて、マッチになつて
あつちの村^{むら}へ売^うられていったよ。」
といました。

小鳥^{ことり}は村^{むら}のほうへとんでいきました。

ランプのそばに女^{おんな}の子^こがいました。

そこで小鳥^{ことり}は、

「もしもし、マッチをごぞんじありませんか。」
とききました。

すると女^{おんな}の子^こは、

「マッチはもえてしまいました。けれどマッチのともした火^ひが、ま
だこのランプにともっています。」

といました。

小鳥^{ことり}は、ランプの火^ひをじっとみつめておりました。



“樵夫用斧头把它给砍了，拿到山谷那边去了。”

小鸟往山谷飞去。

山谷底有个很大的工厂，发出叽——叽——的锯木头的声音。

小鸟停在工厂的门上，问：

“门先生，请问你知不知道跟我最要好的树怎么了？”

门说：

“你说树啊，在工厂里被切得细细的，变成火柴，卖到那边的村子里去了。”

小鸟往村子飞去。

灯的旁边有一位小女孩。

于是小鸟问：

“请问，您知不知道火柴？”

女孩说：

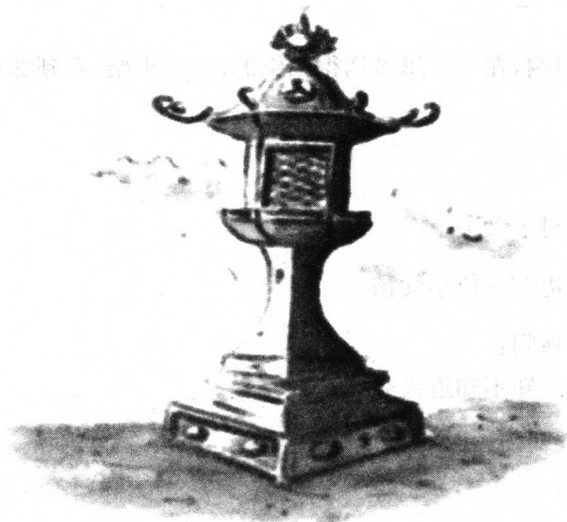
“火柴烧掉了。但是火柴点燃的火，还点着这盏灯呢。”

小鸟目不转睛地注视着灯火。



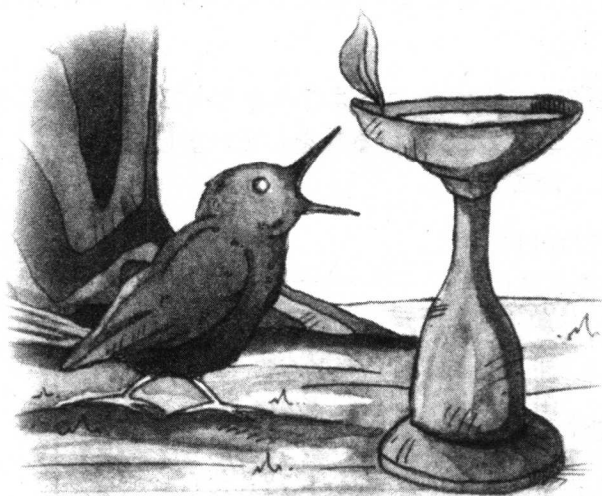
それから、去年の^{きょねん}歌^{うた}をうた^ひって火にきかせてやりました。火はゆ
らゆらとゆらめいて、ころからよろこんでいるようにみえま
した。

^{うた}歌をうた^ひってしまうと、^{ことり}小鳥はまたじつとランプの火をみていま
した。それから、どこかへとんでいってしまいました。



然后，小鸟唱了去年的歌给灯火听。灯火摇摇摆摆，看起来像是打从心底感到高兴的样子。

歌唱完了，小鸟又目不转睛地看着灯火。然后，不知往哪里飞去了。



かに 蟹のしょうばい

かに 蟹がいろいろ かんが 考えたあげく、とこやをはじめました。かに 蟹の かんが 考
えとしてはおおできでありました。

ところで、かに 蟹は、

「とこやというしょうばいは、たいへんひまなものだな。」

おも と思いました。もう 申しますのは、ひとりもお きゃく 客さんがこないか
らであります。

そこで、かに 蟹のとこやさんは、はさみをもって うみ 海つばたにやってい
きました。そこにはたこがひるねをしていました。

「もしもし、たこさん。」

かに 蟹はよびかけました。

たこはめをさまして、

「なんだ。」

といいました。

「とこやですが、ごようはありませんか。」

「よくごらんよ。わたしの あたま け 頭に毛があるかどうか。」

かに 蟹はたこの あたま 頭をよくみました。なるほど け 毛はひとすじもなく、
つるんこでありました。いくら かに 蟹がじょうずなとこやでも、毛のな
い あたま 頭をかることはできません。

かに 蟹は、そこで、やま 山へやっていきました。やま 山にはたぬきがひるねを



螃蟹的买卖

螃蟹想了很久，终于做起理发师的生意。以螃蟹的思维来说，这已经是很棒的想法了。

但是螃蟹觉得：

“理发师的生意，真是很闲的工作啊。”

之所以这么说，是因为没有一个客人上门。

于是理发师螃蟹带着剪刀去海边。那里有一只章鱼正在午睡。

“哈啰哈啰，章鱼先生。”

螃蟹叫他。

章鱼张开了眼睛，说：

“干嘛！”

“我是理发师，您有什么需要我服务的吗？”

“你仔细看看！我的头上有毛吗？”

螃蟹仔细地看了看章鱼的头。原来如此，一根毛发也没有，光溜溜的。不管螃蟹是多么高明的理发师，也无法剃没有头发的头。

于是螃蟹到山里去。山里有一只狸猫正在午睡。

